

講演会アンケートまとめ

たくさんアンケートをありがとうございました。先生のお話から私たちも保育の中で大切にしてくことを職員で共有していきたいと思いました。

また講演後、参観に向かったお家の方が子ども達と対面した時の、笑顔やぎゅっと抱きしめている姿を見て、またまた目頭が熱くなりました。子どもと笑顔で向き合って話をじっくり聞いてくれる保護者の皆さんの思いは、子ども達にしっかり届くと信じています。

(アンケートの文章は簡潔にまとめさせていただきました。ご了承ください)

乳児

- ・仕事が忙しく帰りが遅いことがあるが、笑顔で触れ合う時間を大切にしたい。
- ・内容が濃く、自分に当てはまることばかりで心にぐっときて涙が止まらなかった。
- ・時間がなかったり、言うことを聞いてくれなかったりするとイライラして怒ってしまったが、子どもの成長によくないと実感し、心が痛くなった。
- ・子どもとのコミュニケーション、笑顔を大切にしていきたい。

年少

- ・とてもためになるお話であった。育児について考える機会になった。(5)
- ・先生のお話を思い出し、子どもが傷つかないか、感情任せになっていないかを考えるようになった。
- ・知らずにマリトリートメントのランキングに入っているものをやっちゃって悲しくなった。
- ・笑顔で子どもの目を見ながら会話をする、オウム返し、聞き上手になる等、実践していきたい。(6)
- ・口調やしぐさはすぐに変えられないが笑顔は心掛けたい。
- ・上の子が小さいときに聞きたかった。(2)
- ・「ママのスマホになりたい」の作者であるのぶみさんについて、男尊女卑的発想や発言が多く、20代30代ママ世代を蔑んでいるように感じている。つるの剛士さんの発言もSNSで炎上していてどうなのだろうと思った。
- ・言葉による虐待もマルトリートメントになり、子どもに与える影響が大きいことを知り接し方を考えていきたい。(2)
- ・スマホについてもまずは自分の使い方を見直したい。
- ・主人にも聞いてほしかった。(3)
- ・脳に影響があることの根拠がわかり、前頭前野が活性化する「助かったよ」の言葉も知れてよかった。

年中

- ・子どもにとって安全地帯である親でいられるように、笑顔でいられる環境を作りたい。(2)
- ・長々叱らないようにしたい。 ・鮭を食べるようにしたい。(4)
- ・イライラやガミガミが多くなってしまうので反省した。(3)
- ・先生のお言葉でもっと話が聞きたかった。
- ・子どもが少しでも不安なく、ストレスを感じず、生活できるようにしたい。
- ・今まで講演会には興味が持てなかったが、何かを子どもにさせるのではなく、共にやらなければ意味がないことを知ることができ、チャレンジしていきたい。

- ・“スマホ育児”について知ることができた。
- ・親がスマホを見て子供を見ていないことが問題であることがわかり、一緒にいる時はスマホを見るのをやめコミュニケーションを取るよう実践している。
- ・科学的に脳への影響があるのだから言い訳はできない、という気持ちになった。
- ・父親（祖父母）にすぐに話をした。（3）

年長

- ・とても良いお話であったという間であった。（4）
- ・子どもへの向き合い方や接し方の参考になり、今後改善していきたい。（11）
- ・怒ることや命令をなくし、笑顔で、楽しく子どもと過ごしていきたい（6）
- ・父親にも聞いてほしかった。（5）
- ・「あとでね」をよく使ってしまっていた。見て！聞いて！と言ってきたときは十分向き合うようにしたい。
- ・こどもと感情、感動体験をたくさんしていきたい。
- ・もう少し早い時期に聞きたかった。（3）
- ・子どもに「助かるなー」をたくさん使ってみて本人が喜んでいて。
- ・なぜそうすべきか、という根拠がとても分かりやすかった。
- ・叱るときは60秒以内、を心掛けていきたい。
- ・値上げで鮭が高いけど、今日から復活させる。鮭メニューに取り組む。（2）
- ・講演後、叱るときは一息おいて言い方を考えるようになった。
- ・マルトリートメント、レジリエンスを今日から気を付けます。
- ・公園内で紹介された本を読んでみたい。（3）